



うぶやまの風



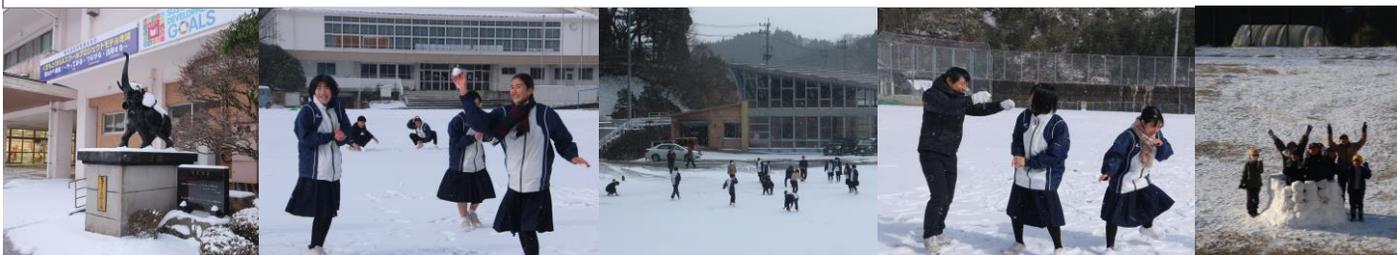
産山学園HPも随時更新

3つの合い言葉

〈学校教育目標〉 学び**合い** 支え**合い** きたえ**合う** 産山の子ども～「合い」とは仲間との高め**合い**、集団の中での育ち**合い**、教育的**愛情**による導き～

寒波襲来～学園生は久しぶりの雪遊びに喜ぶ～

今週は冷え込みが厳しく、産山村も雪が積もりました。火曜日(23日)の夜から水曜日(24日)にかけての降雪で産山学園も一面銀世界になりました。水曜日は日中の最高気温が氷点下にも関わらず、朝から運動場で元気に雪遊びをする学園生が目立ちました。久しぶりに雪の感触を楽しんでいました。冬らしさを感じた一週間でした。



夢の給食「あか牛ステーキ給食」をいただきました



1月19日(金)と26日(金)は、前期課程(1～6年)と後期課程(7～9年)に分かれて「夢の給食」を実施しました。平成25年度から始まった夢の給食は、今年で11年目を迎えます。村内のあか牛を使った最高のステーキ給食です。

給食に先立ち食育講話が行われました。19日は、うぶやま牧場乳製品加工場長 井 慎太郎様、26日は、うぶやま牧場マネージャー 溝 工様にご講話いただきました。19日の講話では、乳牛の飼育、牛乳の製造、販売までを村内で完結する仕組みや安全・安心で最高の製品を届けることを理念としていることなどを話されました。また、飼育されているブラウンスイス牛は全国に二千頭しかいない貴重な牛であることも紹介されました。講話が終わると、ランチルームや各教室で待望のステーキをいただきました。学園生から、「やわらかくておいしい!」「めったに食べないので最高!」などの感想が聞かれました。ステーキを焼いていただいたのは、焼き肉正のスタッフの皆さんです。ステーキ給食をいただき、今年1年元気に過ごすことができそうです。また、9年生は受験に向けてエネルギーをためることができました。

夢の給食を通して、生産者の思いに気づくとともに、郷土産産山に誇りをもってほしいと思います。企画していただいた関係者の皆様に感謝いたします。

